

**令和 6 年度 第 1 回山都町地域公共交通活性化協議会
議事録**

1. 開催概要

日時：2025 年 3 月 17 日（月）13:30～15:00

場所：山都町矢部保健福祉センター千寿苑 ボランティア研修室（→）



協議会の様子

2. 議事

■会長の選任について

■山都町地域公共交通計画の進捗状況について

＜意見・質疑等＞

【資料 1】 山都町地域公共交通計画の進捗状況について

●(有)まるはタクシー

- ・ 八朔祭の日に山荘線を無料にする件について、タクシーはバスよりもフットワークがよく稼働率もいい。タクシーの補助を考えることはできないか？

●事務局

- ・ 八朔祭については、観光需要を増やしたいという想いで、町外から公共交通を使って山都町に来ていただく方を呼び込むための対応として検討している。

●(有)まるはタクシー

- ・ 駐車場もいくつか用意されるが、町の中に来るサービスはあるか？

●事務局

- ・ 駐車場からはシャトルバスを走らせている。ただし、八朔祭の時は駐車場もひっ迫している。中央グラウンドの駐車場が使えなくなることもあるので、公共交通を使ってきてもらえるような意識の醸成を高めていきたい。

●熊本運輸支局

- ・ 運転手確保について、継続して広報されているという説明があったが、どれくらいの効果があったのかを確認させてほしい。また、セカンドキャリア希望者の公共交通分野への就業促進については、どのようなことをイメージされているのかも合わせて教えてほしい。

●事務局

- ・ 運転手募集の広報については、1 年間毎月町の広報誌に掲載しており、目標達成の指標に示す運転手数は増えている状況にある。広報を見て応募した方がいたのかは事業者さまに教えていただきたい。セカンドキャリアについては、まずは役場を退職する方向けに、公共交通と一緒に守っていきませんかと働きかけるためのチラシ作成を考えている。

●南阿蘇交通(株)

- ・ 山都交通の代表をしており、2～3 名の面接を行った。何を見て応募してきたのかは確認していないのではっきりとはわからないものの、町の住民からの応募だったので、広報の効果はあったものと考えている。

●熊本バス(株)

- ・ バス運転手募集について広報をしていただきありがたいと思っている。現時点で、町の広報を見て応募してきたという方はいないものの、今後もぜひ継続をお願いしたい。

●事務局

- ・ 車両の後面に運転手募集も掲げてあるので、それを見て応募された方もあると聞いている。町の広報とダブルの効果になるとよいのではと考えている。

●(一社)熊本県タクシー協会

- ・ タクシーも公共交通なので、タクシー運転手募集の広報についてもぜひお願いしたい。

●事務局

- ・ タクシー乗務員の広報も掲載できたらと思っているし、タクシー事業者の方にもお声かけはしている。加えて、二種免許支援の方は特にタクシー事業者の方がメインになると思っている所以で引き続き協力をお願いしたい。

●社会福祉協議会

- ・ 高齢者は、乗合タクシーをいきなりおひとりで利用することは難しいので、まずはサロンなどで集まって、数人でお試し利用をしてみたいと言われている。矢部地区でそのような話が出ているが、複数名での利用予約なども対応してもらえるのかを確認したい。

●事務局

- ・ 乗合タクシーは予約制なので、予約数の上限に達していなければ複数でのご利用も可能。時間帯で言うと、お昼から便の方が比較的余裕がある。矢部地区は来年度から車両を増やす予定もあるので大丈夫とは思いますが、あくまでも予約に空きがあればということはご了承ください上で、ぜひ予約して使っていただきたい。

●熊本大学（会長）

- ・ モニタリングの数値指標は、目標を立てた時と公共交通の状況が変わってきた場合には、変えた方がいいのではないか。指標 1 のコミュニティ交通利用者数は、乗合タクシーへと見直しを行っているので、数値目標も現状に合わせて設定し直すことも検討されてはどうか。

●事務局

- ・ コミュニティ交通の利用者数は、乗合タクシーとコミュニティバスを合わせた数値にしていきたいと思っている。来年度からコミュニティバスの馬見原高森線が追加されることと、浜町馬見原線も来年度は年間通した運行になるので、その数値を見た上で、見直す必要があれば検討したいと考える。まずは 1 年間様子を見てみる。

●熊本大学（会長）

- ・ 指標 3 のごかせ号については、データ提供してもらえないものか。データが揃わないのであれば、「町外への公共交通をもっと使いやすくする」という目標なので、それに見合う指標に変えてもいいと思う。

●熊本運輸支局

- ・ ごかせ号のデータ提供については、こちらでも確認してみる。

●熊本大学（会長）

- ・ コミュニティ交通の収支率が 7.6%というのはかなり低い値。料金が安すぎるのか、乗合率が悪いのか、確認する必要があるのではないかと。持続可能という意味でもよく考えた方がいいと思う。

●事務局

- ・ 乗合率は 40～50%くらいなので悪い数字ではないと考えている。運賃設定は一律 500 円/回で安すぎるのかも

しれないが、福祉の意味合いから利用しやすい料金ということで設定させてもらった。なお、これまでは、清和の方は通院する際に地域をまたぐ移動になるため、清和地区はエリアをまたぐ利用も可能としており、その場合の料金は1,000 円だった。ただし、これについては住民からの意向を受けて、来年度からは一律 500 円で移動できるように変更することになっている。

【資料 2】 デマンド型乗合タクシーの実績等について

●(一社)熊本県タクシー協会

- ・ 乗合タクシーの予約をお断りするケースもあるとの説明があったが、お断りするのあまり望ましくないと思う。断るケースはどれくらい発生しているのか？

●事務局

- ・ 清和地域ではないが、矢部地域と蘇陽地域で月に 1～3 回程度あると聞いている。ふれあいバスの時は週に 2 日の運行だったが乗合タクシーは平日毎日運行しているので、日をずらしたり便をずらしてもらうようお願いをしている。コールセンターでも予約が重なってお断りをする場合には、この便なら空いてますよというアナウンスをするようお願いしている。

●熊本大学（会長）

- ・ 電脳交通への委託費はどれくらいなのか？

●事務局

- ・ コールセンターの費用も含めて約 1 千万円。

●熊本大学（会長）

- ・ アプリ利用者がかなり少ない状況で、システム代が高すぎる感じもする。「公共交通相談窓口の開設」の事業に、乗合タクシーの予約も絡めて検討してみてはどうか。

【資料 3】 「まちなか回遊サービス」の検討状況について

●(一社)熊本県タクシー協会

- ・ グリーンスローモビリティについては、熊本市内の上熊本や上通・下通で実証を行っている。ゴルフカートに幌をつけた車両で、ナンバー登録までされているはずなので、車両を保有している会社を紹介することはできる。

以上